

子どもと音楽-子どもの音への感性を育む

もちだ ようこ
講師：持田 葉子 聖和短期大学保育科准教授

子どもたちは、日常生活の中で音をどのように聴いているでしょうか。現代社会では、多くの音が氾濫し、そのことが音や音楽に対する繊細さの欠如をもたらしていると言われていています。子どもたちが身のまわりの音や人の声に耳を傾け、いろいろなことを感じ、イメージし、考えることはとても大切なことです。何故なら、そのことが子どもたちなりの豊かな表現を生み出すことに繋がっていくからです。

この講座では、私たち自身の音に対する意識を振り返りながら、子どもたちの音への感性、感受性を育むための音環境とはどのようなものなのか、また保育者はそれをどう創りだしているのかについて、と一緒に学びたいと思います。 — 講師からの講座への呼びかけ —

今年の公開講座は、聖和の保育史とくに広島女学校保姆師範科、ランバス女学院など初期の附属幼稚園での音楽活動について、RCCECの歴史資料で研究しておられる持田先生を講師として講演していただきます。その後、子どもたちのスピリチュアリティを育む音環境、キリスト教保育における音楽表現などについて、参加者のみなさんと話し合うときを持ちたいと思います。ふるってご参加ください。
(センター長 小見のぞみ)

日時：2015年9月1日（火）15：30～17：30

会場：関西学院西宮聖和キャンパス山川記念館2階メアリー・ランバスチャペル

(入場無料/要申込み)

講師紹介：持田 葉子 (もちだ ようこ)

大阪音楽大学短期大学部にピアノを専攻。子ども音楽教室講師を経て、聖和大学教育学部に編入学、同大学院教育学研究科博士前期課程を修了。その後、保育者として幼稚園に勤務。モーツアルテムザルツブルグ・オルフ研究所に1年間コース留学し、オルフ音楽教育について学ぶ。2011年より現職。「保育表現技術」「教育実習」などの科目を担当。専門は音楽教育。

著書：『保育におけるムーブメント』（共著 みらい）、『子どもと表現』（共著 日本文教出版）など。

*名前・連絡先を、Fax または E-Mail で 8月28日（金）までにお申込み下さい。

主催：聖和短期大学キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山7-54 Tel/Fax 0798-52-4702 roseofsharon@kwansei.ac.jp(担当:吉新^{よしあら})

